

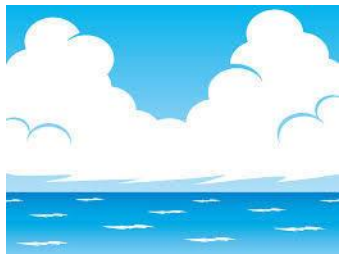
保健室だより 9月号

大阪府立茨木西高校 保健室 2015. 9

カミナリが鳴ったら、隠すのは おへそ。 では、隠れるのは…… どこ？



朝は晴れてよい天気だったのに、午後になったら天候が急変して**突然の雷雨**に・・・
この夏、こんな経験をした人も多いのではないのでしょうか？



この天候急変の原因は、**積乱雲（せきらんうん）**という雲にあります。
発達した積乱雲は、時に、「**急な雨**」や「**カミナリ**」などの激しい気象現象
を呼び、死者やけが人が出るような大きな事故を引き起こします。

これらの事故は天災ともいえますが、でもちょっとした**知恵**があれば、
その心がけと行動で**未然に防ぐ**こともできます。

◎そこで、今月はカミナリの災害から、身を守る方法を学習しましょう。

まずは、カミナリを呼ぶ積乱雲について



積乱雲は、気象ニュースでよく聞く「**大気の状態が不安定**」な時に発生します。
「大気の状態が不安定」というのは、**上空に冷たい空気**があり、
地上には温められた空気の層がある状態です。

当然、温かい空気は上へと昇り、冷たい空気は下へ降りようとするため、**対流**が起きやすくなります。
雲の上の方は氷点下で、ほとんど**氷の結晶**でできていますので、この対流が起きると、雲の中で結晶
どうしが何度も衝突し、その結果、摩擦が起き**静電気が発生**します。そして、雲全体が電気を運び、
最終的に電圧が高まると**放電**します。これがカミナリです。（とても、簡単な説明ですが・・・）

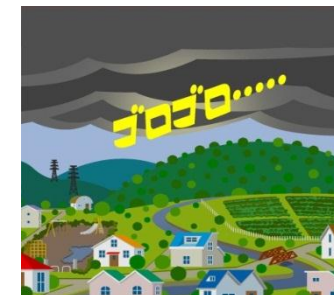


～積乱雲が近づくサインを見逃さない～

成長しつつある積乱雲は、雲のてっぺんがもくもくと沸き立ち**カリフラワー**のような形
をしています。 さらに発達すると、雲のてっぺんが周りに開き、**キノコの傘**のようになり
ます。 右面のような変化を感じたら、その**積乱雲が近づいているサイン**です。



真っ黒い雲が近づいてきた



カミナリの音が聞こえてきた



急に冷たい風が吹いてきた

●積乱雲が近づくサイン＝カミナリが近づくサインに気づいたら、
急いで安全な場所に避難することが重要です。

知っ得？ カミナリの特徴

- ①カミナリは海面、平野、山岳などの**場所を選ばず落ちます**。また、周囲より高いものほど
落ちやすいという特徴があります。 グランド、海岸など開けた場所にいるのはもっとも危険
です。周囲で、あなたが一番高い存在になりかねません。
- ②カミナリの直撃を受けると、**8割の人が死亡**します。
- ③落雷を受けた樹木のそばにいと、
その樹木から人の体へ**カミナリが飛び移る**ことがあります。
だから、**木の下での雨宿りは厳禁！**
- ④金属（ネックレス、時計など）を離しても、ゴム長靴をはいていても、
落雷は防げません。
- ⑤自分の頭上の空が晴れていても、ゴロゴロという音が聞こえたら、
それはもうすでに**カミナリの射程圏内**に入っています。



～では、カミナリが鳴ったら、どこに隠れるのが一番いいのでしょうか？～

- 鉄筋コンクリートの建物の中が一番安全です。
- 自動車（オープンカーは不可）、バス、電車の中も比較的安全です。
- 木造建築の中も安全ですが、すべての電気器具、天井、壁から**1m以上離れれば**さらに安全です。



～近くに避難できる建物がない場合は……？～

- 電柱などから**4m以上**離れてください。高い樹木からは、その幹、枝、葉から
2m以上は離れてください。
- 足は閉じて、できるだけ低い姿勢で、**手は地面につかない**でください。
- 持ち物は、自分の体より**高く突き出さない**ようにしてください。
- カミナリの音が止み、**20分以上経過**してから、安全な場所に移動してください。



人間には、「**たぶん大丈夫**」「**自分は大丈夫**」と自分に都合よく考えてしまう傾向があります。
いざというときにはこのような考えは禁物。「まさか・・・」の時に、**安全第一の行動**が取れるよう、
普段から**心の準備**をしておいてくださいね。